

2012年末までのTVスポット売買価格＝“SPI Index” 予測レポート

企業のマーケティング活動におけるROIの最大化を使命とする株式会社エスピーアイは、15年間の培ったデータをもとに、本年4月から12月までの、TVスポット広告市場の動向を分析、予測しました。

- 東阪名の2012年4～6月実績世帯コスト%は、実質2010年4～6月と同レベルか若干の値上がり、となる模様。
- 2012年7～12月は、対昨年同時期+0～5%程度で推移。

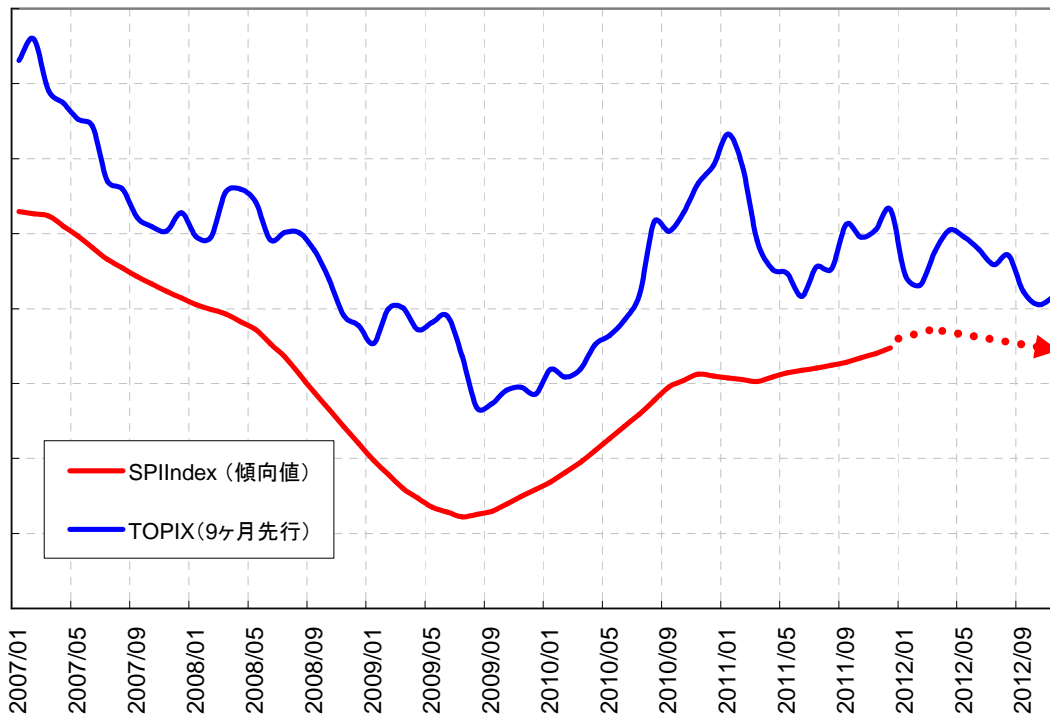
2012年4～12月は昨年の広告出稿活発化を引き継ぐ傾向もあり、4月頭はその傾向が顕著なものの、全体としては景気先行き不透明というマイナス要因もある為、インフレ率が鈍化していくと推測される。

この傾向は、SPIの分析により、TOPIXを9ヶ月先行した数字と、SPI Indexとの相関から検証されています。

2013年以降の詳細な取引価格予測は、2012年9月頃に公表する予定です。

※ SPI Indexは「実績GRP単価」であり、バイイング単価が値上がりしていない場合でも、世帯達成率の低下により上昇する可能性があります。

図：TOPIXによる、中期SPI Index傾向値分析



* より詳細な情報をお求めの方は、spi.index@spi-consultants.com までご連絡下さい。
文責：SPI 小久江